



REVERSE

-フェリの逆調教-

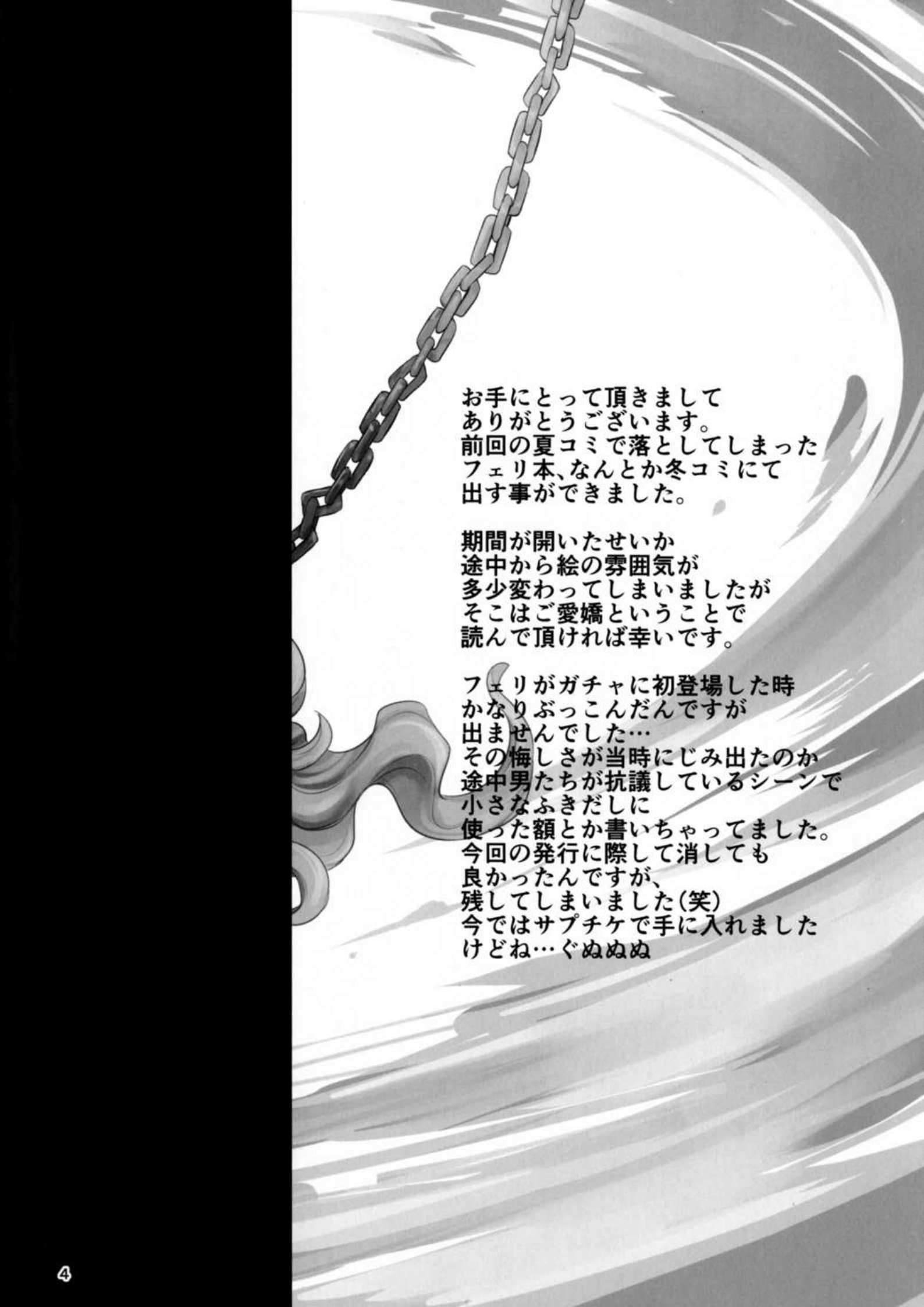
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



REVERSE

-フェリの逆調教-



お手にとって頂きまして
ありがとうございます。
前回の夏コミで落としてしまった
フェリ本、なんとか冬コミにて
出す事ができました。

期間が開いたせいか
途中から絵の雰囲気
多少変わってしまいましたが
そこはご愛嬌ということで
読んで頂ければ幸いです。

フェリがガチャに初登場した時
かなりぶっこんだんですが
出ませんでした…
その悔しさが当時にじみ出たのか
途中男たちが抗議しているシーンで
小さなふきだしに
使った額とか書いてちゃってました。
今回の発行に際して消しても
良かったんですが、
残してしまいました(笑)
今ではサブチケで手に入れました
けどね…ぐぬぬぬ



ホラこれがいんだろお

もっともっと
大きな声で鳴きな
このブタども!

ぎゃああ
ああーっ!

ひいっ!

ややめて
くれえーっ!

もっともっと
痛くしてやる
からなっ!

アハハハッ!

ぐあああーっ!



…何する気？

まずは
足でも舐めて
もらおうか
ねえ

ヒヤッ
ヒヤッ

ボクたちが
さしていた事を
少しでも味わえ

理解して
もらえると
思いますよお

いいかげんに
しろ！
これを外せっ！

口の
きき方が
なあってない

ワウウ

フフ

しばらく
反省してろっ！

次来た時に
たっぷり
おしおきして
やるぜ！

シカッ

アッ
ヤ



ハチチャン
：キィ
ワウッ

一度
孤独から
開放されてしまうと
弱くなってしまふ
ものだな…

ハ
シ
ャ
ア
ア
…
シ

やあやあ
お待たせして
くれましたね
フェリ様

ずいぶん
ですなえう
これから
お仕置き
されるの
に

お前たち…
戻ってきて
くれたんだな！

また独りに
じゃないかと
思ってたんだ
あれから
私も少し反省
したんだ…
！なんでも受けよう

ほお
それは殊勝
ですなえ

ではボク
言う通り
まして頂き
よう



な…

さあフェリ様
自らスカート
たくし上げて
おしりをこちらへ

お仕置きといえ
ばまあおしり
ペンペン
フェリ様はム
チで叩いてま
したけど
やはり手で直
接がイイ



できるわけ
ない
そんな
恥ずかしい
こと!

どうしたあ？
お仕置きの
おねだりして
みろよフェリ
様あ

でも拒否した
らみんなまた
いなくなつて
しまうかも…

もう孤独は
嫌だ!



ここで
いいか？

叩きたく
らば
気の済む
まで
やってく
れ

ニユル

おねだりしろと
言っただんどねえ
ですけど

うっ…

そんなの
でしたことないん
であらう

まあ
これから覚えて
もらいますよ
…ふふ

モロモロ ヌツツ

なで

なで

オラもつと
よおっ！

グイッ

あっ…は…
はいいっ！

いや…ああ
あーっ！

では
よみます



ま……

ん……

ただ叩かれてる
んじゃお仕置き
の意味が無いで
すよちゃんと謝罪
して頂かないと

それは言葉
謝罪の言葉
じゃないっ!

悪かった……

もつと
大きな
声でっ!

ごめん……

ごめんな
さいがっ!

痛いよ……
は恥ずかしい
よおっ……!

でも
こうされてる
私以外の
誰かいる
強烈に
感じられる……

そうそう
フェリ様!

う……

う……



おやおやおやおやあ？
なんですかこれ
上の口では
反省できたのに
下の口はツバ吐いてる
じゃないですかあ

は...あ...

あ...



え？
うまく反省
できなかったの
いいのか？

ああ
しばらく食べて
なかつたから
腹減っただろ？

ウウウ...



そう
怒るなって
反省も謝罪も
したこと無い
だろそいつは
その高慢な
マンコ
好きだなあ
俺は！



ちよっと
休憩だ
ミルクでも
飲みな

コト...



見ろよ
あのフェリ様が
犬みたいだぜ!

これは
コーフン
しますねえ

ハッハッハッ

んっ

んっ

コッ

コッ

はっ



柳外してやるよ
男を慰める
方法くらい
知ってるよなあ

カッ
コッ



フェリ!

あっ!

ぶっ

お前に
優しくしてくれた
アイツを
見てみる!



…すまなかったな
私のせいで…

ずっと独りである
私には
よくわかる…

チッ



お前が
メチャクチャに
叩いたせいで
傷だらけでな

おかげで
女を見ただけで
あんな
なつちまうんだ

家に閉じこもって
寂しかった
だろうなあって
慰めてやって

かわいそうに
女を抱く
どころか
ろくに外にも
出られねえ

あっ…!



ああ
わかった

へへ…じゃあ
俺のチンポ
フエリの中で
温めてくれよ



さあ
なんでも
言ってくれ

もう
寂しい思いは
させないから…



長く現世にいる
せいで
ち知識だけは
あるんだ
ここにこうして…

あいにく私は
経験はない

ふっ



あゝ

10



だだめっ
離れないでくれ...
私の中に
いてくれっ

おおい
ちよつと
待...んぐっ!

びしょ
びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

うわっ!
うれしょん!
しやがった!



あーあーあー



ご主人様が
帰ってきた犬
みりゃだな
こりゃ

DSを
気取っても
所詮はエルーン
盛ってしまった
こんなもんですよ

ハハハ!
どんだけ!
寂しかったんだ
こいつは!

待っててくれ
順番に
してやるから



おいフェリ
俺たちも
放っておかれると

寂しいん
だけどなあ

あ...

そんなの
待てねーよ

でも
一人ずつしか
できないし!

大丈夫ですよ
フェリ様あ
それに忘れたん
ですか?



これはお仕置きなんですよお!

えっ? うそ そっちは...
あまのま...!

タイ



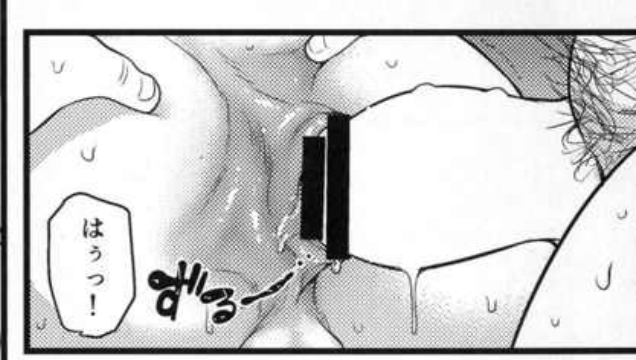
さあ おしりパンパン 再開ですっ!

ふぐ
うう



ふぐ...
うう...!

か
か!!



はう...
はうっ!



はう...
はうっ!

...あつ



どうです？
少しはわかりましたか
ボクたちが望んで
いたものがっ！

ただムチで
叩いて
じゃなかったん
じゃない

独りじゃない
という事を
痛みで
感じましたよ
おつた！



どうですっ！
ケツマンコ
擦り切れる程バンバン
穴広げてもっと欲しがる
くらい快感でしょうっ！

はひいっ
はひいっ

もっ...もっ...
ずぼずぼはんはん
お仕置きして
くらさいいっ
♡♡♡

じゅじゅ
ほほほ



オホッ！
ケツ穴に入った
ちんぽを
そんなに丁寧にっ

ちゃんと
キレイに
するから
ずとずと
おしおきして……くれ

わ私の
おしりの穴で
大事な
おしおきちんぽが
汚れてしまったが
から……

フホッホッホ！
汚れたなんて！
とんでもない！
ボクは
フェリ様の
アナルなら

顔面騎乗されたまま
百年でも
舐め続けたい
ですよお！

ああ……あつ♡
私もこのまま
ずつと
輪姦され続け
たい……いっ！

ゴゴゴ
ゴゴゴ

ゴキ
ゴキ

ゴキ
ゴキ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

にゅ
にゅ

にゅ
にゅ

にゅ
にゅ

俺もだっ！
今のフェリ様なら
わかってくれるっ！

今のフェリ様に
ムチで
叩かれ続けてえっ！
ケツ穴で窒息死させ
もらいてえっ！

あーイクっ！
俺もう
限界……っ！

はぁあ……

いいぞ出して……っ
私の中に
みんおの
おしおきちんぽ精子
だしてえっ♡

私……やっと
わかった……

オホッ！
フェリ様！
お掃除フェリまで
してくれん
ですかっ！

んぶっ

んぼ

あーイイ！
イイですよ
フェリ様あ
男はイッた直後が
一番敏感なんです

いでっ!?

…そしたら
ずっと一緒に
いられるじゃないか

良い事を聞いた
ではイかせた後に
こうしてちんぽを
痛めつけてやるう

これからは
ずっと一緒にだぞ
輪姦して痛めつけてを
繰り返すんだ

いででででっ！
やめて下さい
ちぎれてしま
いますっ！

う嬉しいですけど
生身のボク達には
無理ですっ！

おん？
お前たちのおかげで
精神的な繋がりが
大事さがわかったんだ
遠慮するな

ふふ…しばらくは
寂しさが
まぎれそうだ

そんなの
続けたら
枯れ果てて
死にますよ

あとがき

読んで頂きまして
ありがとうございました。
いかがだったでしょうか？

本当はこの作品、
あと10ページくらいあったんですが
時間の都合上だいぶ端折って
しまいました；
分かり辛い部分があったらすいません。
もっとこう…孤独感を利用して
フェリを調教していく感じを
出したかった…悔しい！
でもこれはこれで満足しております。

ガチャで大枚使った怒りでネームを
切り始めたものの、結構ストーリーを
深く作り込めそうなキャラで
かなり好きです。
強いし(笑)
確実に席があるキャラですね。
かわいいしさあああああ！！

闇SSRとして再登場してくれないかね
うちは闇パメインだから！

また機会があればこの子を
動かしたいと思っております。

ご意見・ご感想お待ちしておりますー

夏木きよひと



REVERSE

奥付

発行

夏木きよひと
サークル T.cop (ティーコープ)

発行日

2016.12.31.

印刷

緑陽社様

連絡先

nyworks@hotmail.com
Twitter: oonatsukioo
blog: [http://www.nyworks.
blog102.fc2.com/](http://www.nyworks.blog102.fc2.com/)
※禁 無断複製 転載

ご意見・ご感想・お待ちしております



KIYOHITO NATSUKI
PRESENTS